

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様(代諾者の方)には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：野球検診からみる肘OCDの身体的特徴について

1. 研究の概要

野球は日本において人気のあるスポーツの一つです。学童期の野球の過度な練習により、肩や肘に痛みを訴える選手が多くいます。その障害の中でも肘関節離断性骨軟骨炎(Osteochondritis dissecans：以下肘OCD)は疼痛だけではなく、肘関節の変形により肘関節可動域の制限が生じる事で野球ができなくなるばかりか、日常生活に支障をきたすことがあります。肘OCDの早期発見には超音波の有用性が報告されており、そのため当院では肘OCDを早期発見し、野球に復帰させるために年に一回、超音波検査による野球検診を行っています。また、同時に理学療法士による選手の関節可動域や柔軟性の測定を実施しています。

対象は、当院で野球検診を開始した2010年から2017年に野球検診を受けた選手を対象に、投球側肘関節に問題のない選手と肘OCDと診断された選手の身体的特徴を比較検討します。また肘OCDと診断された選手で過去に受診歴があれば、過去の数値と比較し身体的に変化がないかを検討します。

2. 目的

本研究は、少年野球検診において肘OCDを生じている選手の身体的因子を探索することで、肘OCDの予防を行えるようにすることが目的です。

なお、この研究は、肘OCDの治療に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2023年3月まで行われます。

4. 対象者

2010年12月19日～2017年12月17日に本院で野球検診を受けられた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方から、身体測定の結果および、選手・指導者向けの問診表の内容を利用させて頂き、これらの情報をもとに肘 OCD の予防の有用性を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

個人情報管理者

荒川 英樹

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部・講師

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科

理学療法士 落合 優

電話：0985-85-9849

FAX：0985-859847